

圖シアリ

○陸軍費ニ依ル現地施設ノ實施

○厚生省又ハ内務省ヨリ施設班等ヲ派遣シ或ハ請負ヲ以テ優先實施  
セシムルコト

三、鹿児島、佐賀、熊本、長門、各支局ニ就テハ、電報報告セル通ナルモ之カ現況  
並ニ意見ニ附シテ別ニ詳述ス

第二、編成等ニ關スル事項

一、上陸地支局ノ現況附表第一ノ如シ

二、上陸地支局ノ機能發揮ハ、諸般ノ關係上、遲延シアルヲ以テ更ニ當分復  
員、監部ヲシテ之カ育成ニ努力セシメ、復員省直屬トスル時期ハ來春迄  
延期スルヲ可トス

三、九州ニ於テハ支局ノ數、交通ノ難易、歸還外地ノ廢絶ナル關係  
上、前項ノ外、西部軍管區ニハ上陸地支局專任ノ指導ニ任スル參謀副長  
又ハ高級參謀ヲ一新ニ命ぜらるル外、復員監部消滅後ニ於テモ四支局  
ヲ統轄又ハ統制スル如ク、博多上陸地支局ノ格ヲ上タルヲ可トス、本件  
ハ併上長官事務局ノ關係ニ於テモ然リ

三上總地支局ノ陣容ハ佐官級ニ缺員（未着任ノ者多シ）多ク（十月初旬官管區ノ發令ノ人員カ目下續々ト到着シツツアリ）特ニ仙崎、下關、門司、佐世保ノ支部ハ早急ニ改編シ得ザル狀況ニシテ又現編成人員中約三割乃至五割ハ後員ヲ希望シアリ特ニ主計、宣傳關係者ハ待遇、人員ノ關係共極メテ困難ナル狀況ニシテ之カ確保ノ爲特種ノ措置ヲ要スルモノト認ム尙下級ノ要員確保ノ爲ニハ新聞廣告等ニヨリ現地ニ於テ募集中ナルモ其ノ取果ハ比較的良好ナルカ知シ但人員ノ質的部面ニ就テハ後述スル結果待遇等ト關係シ必スシモ樂觀ヲ許サス

四 支局ノ業務實施要領ハ施設ノ獲得トモ關係シ通常現業關係ヲ港頭ニ  
配置シ海民一体トナリテ活動シ之カ後據トナルヘキ企劃、物資取  
得等ノ總務關係ハ適宜ノ位置ニ在リ而シテ機體ヲ改正ト共ニ各々之  
等ノ所在ヲ一致セシムルコトニ依リ海民諸機關ノ業務統一ノ實質  
的効果ノ大半ハ望ム得ヘシ

佐世保、鹿兒島ノ如キハ施設ノ關係上海民機關ノ全部ハ同一地ニ  
在リテ業務モ目ラ一容的ニ爲シ

五 陸軍留守業務部ノ人員ハ甚多、仙崎及佐世保（主力ハ鹿兒島ニ轉移  
シアリ）ニ派遣セラレ業務ヲ實施スアリテ其ノ要領ハ概ネ適切ナリ  
但人員ハ當初ノ豫定二―三人ニテハ不足ニシテ電報セル通り支局ノ  
機能發揮迄ハ一支局（支部）ノ派遣シアル點ニ於テハ支部ニ別當ニ  
約十人程度ヲ必要トス

尙支局ハ一級ニ受人業務ニノミ没頭シ後員ノ援助又ハ指導ノ點ニ就  
テハ後員業務ニ關スル知識ノ缺陥ノ現在朝露ヨリノ歸來部隊カ其ノ

員ノ常時派遣困難ナル場合ハ上陸地支局ノ陸軍官ニ職務其ノ派出員  
ヲ兼ネシムル事可ナルヘシ  
本件ハ陸軍省守務部ニ就テモ同様ナリ  
七 各管區ニ於テハ上陸地支局ノ現役將校ノ轉屬及豫備役編入等處理ノ  
爲各上陸地支局ニ大一中一各以下派テ名ノ轉屬處理班ヲ派遣セシメ久  
暫米純管ヲシテ一丁トシ本件ハ事務實施ノ迅速ヲ期シ得ルモ業務ノ性  
質上上陸地支局ノ業務中ニ包含セシムル事可トスルヲ以テ上陸地支  
局ノ業務變更ノ時期ニハ外地ヨリ復員班中ノ現役將校ノ轉屬ニツ  
キ中央指令ニ所妥ノ修正ヲ加フル要アリ  
八 外地ヨリ歸還セル存身タリシ軍人、軍屬ハ上陸地所管軍管區司令官  
ノ定ムル部隊ニ於テ所妥ノ調査、教育ヲ實施スル如ク示サレアリテ  
西部軍ハ隷下部隊復員ノ状況ニ鑑ミ之カ業務ヲ上陸地支局ニ擔任セ  
シメアリ而シテ上陸地支局ニ於テ如何ナル程度ニ教育ヲ實施スルヤ  
ハ最モ問題トナリアル所ニテ教育ノ長點ヲ明示スルヲ要ス

軍司令部ノ指導ノ下整々タル復員ヲ實施シアルト復員業務力保守業  
務要員ノ確保タルノ誤解トニヨリ警意皆無ニ齊シク單獨歸還者ニ對  
シテハ必要ナル證明書ヲ與ヘ不籍地ノ警察區司令部ニ派遣シアル狀  
況ナリ

(本件ハ東京經濟部ノ派出員ノ未着、給與用被服、糧秣等ノ集積無  
キ爲已ムヲ待ス時機處置セル如アルモ)

前項ノ狀況ニ鑑ミ西部ニ於テハ復員指導要領ヲ作製シ配布スル外  
必要ナル指導ヲ實施スル如ク計畫シアリ又支局ノ中心人物中ニハ動  
員業務ニ經驗ヲ有スル者及勤以事務經驗ノ將校、下士官ヲ含マシ  
ムルヲ可トス

六 東京經濟部ノ派出員ハ博多ニノミ進出シアル狀況ニシテ前述ノ如キ  
不便モ生ヌヘク各支局及支隊所在地ニ配置スルヲ要ス

南朝鮮隊ノ復員ハ東京經濟部派出員ノ進出ニヨリ短期ニ於テハ相當  
ノ便宜ヲ得アリ近ク歸還總括整理ノ支那ヨリノ復員ニ方リテハ特ニ  
金銀給與ノ必要大ナルヲ以テ復員總括整理者ナルヘシテ東京經濟部人

殊ニ思想問題ニ 短期日ノ教化期待シカタク逆效果乃至惡  
作用ヲ生起スルコトナキヲ保シカタシ又之カ教育ノ内容等ノ如何  
ニヨリ十二月以降ニ於テモ軍管區又ハ支局ニ確保スヘキ人員數等  
ニ更ニ必要ノ考慮ヲ拂ハサルヘカラス  
九各上陸地支局共通譯ノ必要ハ絶對ナリ  
現地ニ於テハ募集ノ處理ヲ論ジアルモ現情勢上適任者少ク軍管區  
ニテハ差方リ現有者ノ一部ノ融通ヲ考慮シアリ  
中央ニ於テモ通譯ノ取得、養成ニ援助ノ妥アリ  
通譯ノ皆無又ハ不良ハ現地米軍トノ意志ノ疎通ヲ缺ク最大ノ原因  
ニシテ之カ爲感情的ニ米軍ノ融通ヲ生スル一因トナリアリ  
一〇支局ノ雇傭人ノ給與待遇ニ關シテハ問題トナリアル所ナリシモ前  
述ノ如ク募集ニ依リ人員ノ充足ヲ實施シアル狀況ニ於テハ速ニ之  
ヲ決定スル妥アリ又長期州ル業務ニ盡瘁スル者ニ對シ勸價高、住  
宅料ノ實情ニ鑑ミ特別ニ厚給スル如ク考慮スルヲ要ス然ラサレハ

支局ノ人員ハ當分異動常ナカルヘク廷テハ外征部隊ノ取扱ニ精神  
的万全ヲ期シ得ル所以ニ非ス

一 検査援助委員ハ船司司令官差出ニテ九州全派ニ亘リ近野少將以下  
百十九名（博多 近野少將以下四十七名、鹿兒島 渡邊大佐以下  
二十二名、門司 淺見中佐以下二十五名、仙崎 壽上中佐以下二十  
五名）ヲ配置シ厚生省ノ人員ハ進出シアラス表面ハ縣ノ衛生課及  
海運局ノ検査部ノ人員ヲ援助シ實質ハ重三體トナリテ差方ヲ視、  
問診ヲ實施スル外施設、資材ノ取得ニ努力シテ且  
二三上座地檢驗ノ検査一業及上座地支局ノ人員ノ占位要領ノ一業附表  
第二ノ如シ

以上陸海支局ヲ厚生省ノ引揚送課事務局ニ全然統合セシムルキヤ  
ハ人事及資材配運用ノ見地ヨリ極意ヲ審視ス